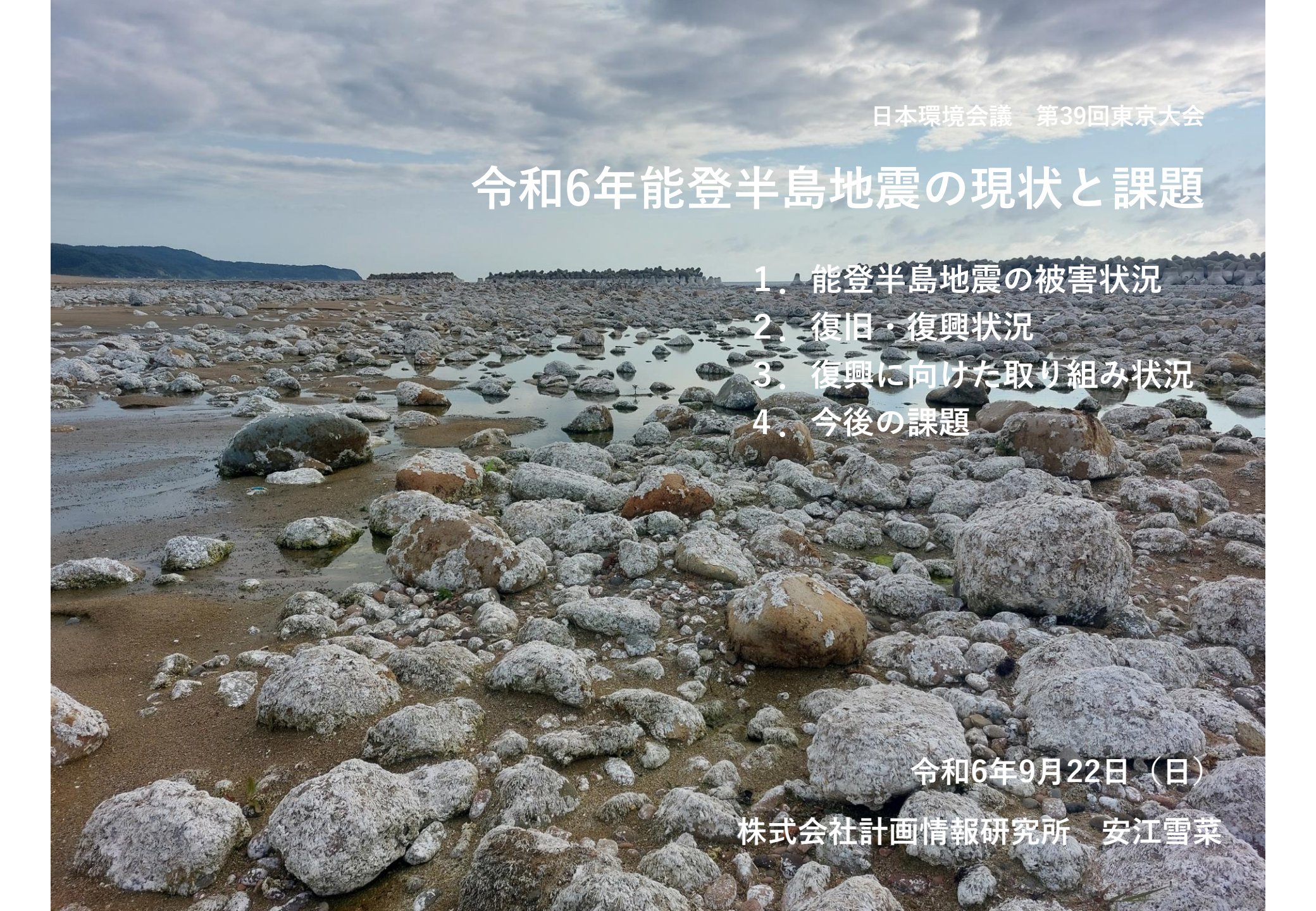




日本環境会議 第39回東京大会

令和6年能登半島地震の現状と課題

1. 能登半島地震の被害状況
2. 復旧・復興状況
3. 復興に向けた取り組み状況
4. 今後の課題

令和6年9月22日（日）

株式会社計画情報研究所 安江雪菜

自己紹介

安江雪菜

株式会社計画情報研究所 代表取締役

本社 石川県金沢市 建設コンサルタント

プランニング及び事業化支援（交通、まちづくり、

現在 国交省直轄 市街地復興方策検討調査業務（その2） 珠洲市・中能登町

国交省直轄 復興まちづくりに向けた中間支援活動との連携方策調査検討

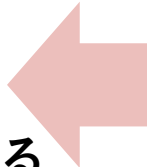
和倉温泉創造的復興 事業等

一般社団法人NOTOTO. 共同代表

4月11日設立 休眠預金 2023年通常枠

NOTOTO.

- 居場所事業 | 能登の未来に向けた交流・対話の場をひろげる
- 伴走事業 | 能登の生業・地域復興の担い手をつなぎ支える
- 発信事業 | 能登での経験を世界の生きた学びとして伝え続ける



国内外の
人や企業等を
コーディネート

1. 能登半島地震の被害状況

速報
北國新聞
2024年(令和6年) 1月1日(月)

県内で大地震

志賀震度7 輪島津波1.2メートル

強い地震で起きたひび割れ
11月午後4時50分ごろ、輪島市

M7.6、能登で大津波警報

1日午後4時10分ごろ、志賀町で震度7の地震があった。震源は輪島市の東北東30キロ付近で、深さはごく浅い。地震の規模はマグニチュード(M)7.6と推定される。北海道から九州にかけての広い範囲で揺れを観測した。気象庁は能登地方に大津波警報を発表。輪島港では1.2メートル以上の津波を観測した。林方正官房長官は家屋の倒壊などで生じた被害が甚大であると明らかにした。輪島市では大規模な火災が起きた。その後、能登で断続的に地震が続いた。気象庁は、令和6年能登半島地震と命名した。各地の自治体や消防によると、能登町と羽咋市では複数

震度7 志賀町 震度6強 七尾市、輪島市、珠洲市、穴水町 震度6弱 中能登町、能登町、金沢市、新潟県長岡市、小松市

購読の申し込みは 0120-367-464 1週間の試し読みもできます

TBS NEWS DIG
17:30

速報 石川・能登に大津波警報

中継 石川・能登半島上空

TSUNAMI にげて！

津波の予想最大高と第1波予想時刻

石川県能登	5m	第1波確認
山形県	3m	第1波確認
新潟県上中下越	3m	第1波確認
佐渡	3m	第1波確認

1 地震の概要（気象庁情報：1月2日7:00 現在）

(1) 1月1日16時10分の地震

①発生日時
○令和6年1月1日16:10

②震源及び規模（暫定値）
○場所：石川県能登地方（北緯37.5度、東経137.3度）
○規模：マグニチュード7.6（暫定値）
○震源の深さ：16km（暫定値）

③各地の震度（震度5強以上）

○石川県 震度7 志賀町
震度6強 七尾市、輪島市、珠洲市、穴水町
震度6弱 中能登町、能登町
震度5強 金沢市、小松市、加賀市、羽咋市、かほく市、能美市、宝達志水町
○新潟県 震度6弱 長岡市
震度5強 新潟中央区、新潟南区、新潟西区、新潟西蒲区、三条市、柏崎市、見附市、燕市、糸魚川市、妙高市、上越市、佐渡市、南魚沼市、阿賀町、刈羽村
○富山県 震度5強 富山市、高岡市、氷見市、小矢部市、南砺市、射水市、舟橋村
○福井県 震度5強 あわら市

1. 能登半島地震の被害状況

- 地震による建物の倒壊・損壊に加え、輪島市では市街地の火災による「複合災害」が発生。
- 石川県珠洲市、能登町及び志賀町の3市町、新潟県上越市では、津波により約200ha浸水。
- 石川県、富山県、新潟県の広い範囲で、液状化による被害が発生。



建築物の損壊状況（七尾市）



木造建築物の倒壊状況（穴水町）



焼失した市街地を北側から撮影した様子（輪島市）



液状化による地盤の流動状況（内灘町）

■被災状況

死者・負傷者	死者 245名 負傷者 1,313名	(令和6年5月21日14:00 消防庁)
住家被害	全壊 8,571戸 半壊 20,402戸 床上・床下浸水 25戸 一部損壊 94,558戸	(令和6年5月21日14:00 消防庁)
避難者数	最大 51,605名 (1道9県1府) 現在 3,598名 (石川県)	(令和6年1月2日5:00 内閣府) (令和6年5月21日14:00 内閣府)
停電	最大 約40,000戸 (北陸電力管内1/1 16:10時点) 現在 安全確保等の観点から電気の利用ができない家屋等を除き復旧(石川県)	(令和6年3月15日13:00 経済産業省)
断水	最大 約137,000戸 (石川県、富山県、新潟県、福井県、長野県、岐阜県) 現在 約2,230戸 (石川県)	(令和6年5月21日14:00 国土交通省)

<死者・負傷者、住宅被害>

※新潟県の公表資料において新潟市の住家被害(被災証明申請数)は本表に反映していない

※富山県の公表情報において住家被害の「未分類」と表記されている情報は本表に反映していない

※石川県の死者数は石川県の公表資料に基づく



津波の引き波による住宅2階部分の流出状況（能登町）

※【写真出典】国土技術政策総合研究所現地派遣者
および石川県知事会見資料より

1. 能登半島地震の被害状況



家屋倒壊（珠州市三崎町地内）



建物倒壊（輪島市河井町地内）



火災（輪島市河井町地内）



液状化（内灘町西荒屋地内）



法面崩壊（金沢北陵高校（金沢市））



道路被害（のと里山海道 横田IC付近）



トンネル崩壊（国道249号）



山腹崩壊（珠州市正院町地内）



地盤隆起（鹿磯漁港（輪島市））



ふ頭用地陥没（金沢港（金沢市））



建物損壊（和倉温泉（七尾市））

出典）石川県 資料

1. 能登半島地震の被害状況

○道路、上下水道施設を中心に甚大な被害が発生。



国道249号大谷トンネル（珠洲市）



国道249号道の駅千枚田付近（輪島市）



輪島港の被災（輪島市）



能登空港の被災（穴水町）

■被災状況

（令和6年5月21日14:00国土交通省）

道路

能越自動車道、北陸自動車道、国道249号（石川県管理）、国道8号等で被災通行止め（北陸自動車道は1/2、国道8号は1/27に通行止め解除。能越自動車道は3/15に全区間で北向き通行確保（のと三井IC～のと里山空港では対面通行可））

上水道

石川県内の2事業者において約2,230戸が断水中。一部は断水解消済。
※水道事業者が管理している施設が復旧しておらず、住宅等に水を供給できない戸数

下水道

処理場33施設（石川県・新潟県・富山県）、ポンプ場14箇所（石川県）
管路施設（石川、新潟、富山、福井県の62市町村のうち32市町村で被害無、30市町村で応急対応により流下機能確保済み）

河川

4水系4河川16箇所施設損傷等（国管理）、66水系113河川で施設損傷等（県管理）
河原田川、山田川等で土砂崩れによる河道閉塞が発生

海岸

22海岸で堤防護岸の損傷等を確認（石川県管理の宝立正院海岸、三崎海岸等）

土砂災害

455件（新潟県18、富山県13、石川県424）

港湾

22港（石川県・富山県・新潟県・福井県）で防波堤や岸壁、ふ頭用地等に被害が発生

空港

能登空港（滑走路上に深さ10センチ長さ約10メートル以上のひび割れ4～5箇所）

鉄道

運転を見合わせている路線：なし



岩屋浄水場の被災（七尾市）



浄水場から配水池へ向かう水道管の破損・露出（輪島市）



下水道マンホールの浮き上がり（輪島市）

※【写真出典】国土交通省道路局
WEBサイトおよびTEC-FORCE撮影

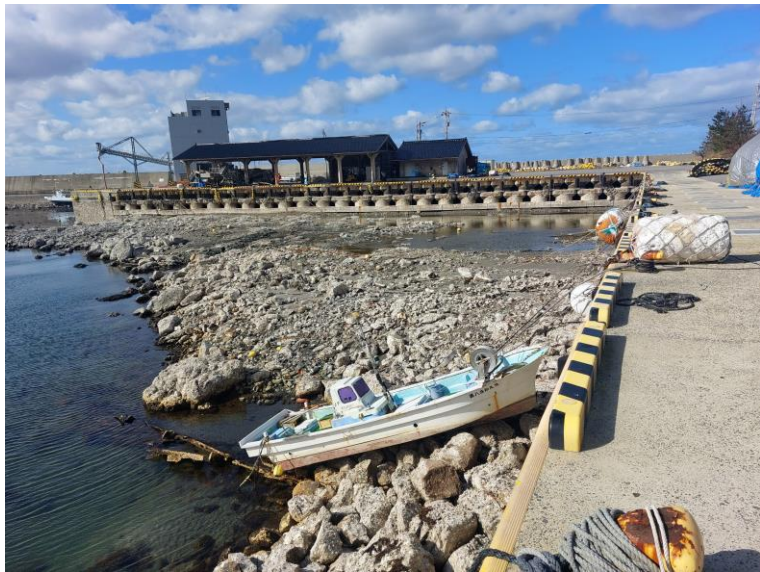
1. 能登半島地震の被害状況

被害状況（1月17日 珠洲市蛸島）



1. 能登半島地震の被害状況

被害状況（2月3日 門前 鹿磯漁港、總持寺祖院）



1. 能登半島地震の被害状況

【第158報 令和6年9月10日14時00分現在】

市町名	人的被害(人)						住家被害(棟)						非住家被害(棟)	
	死者	うち災害関連死※	行方不明者	負傷者		小計	全壊	半壊	一部破損	床上浸水	床下浸水	小計	公共建物	その他
				重傷	軽傷									
金沢市					9	9	3 1	2 4 1	8 6 0 9			8 8 8 1		1 7 3
七尾市	1 4	9			3	1 7	5 0 5	4 6 6 0	1 0 6 9 7			1 5 8 6 2	調査中	2 7 8 9
小松市	1	1			1	2	1	7 5	4 0 5 7			4 1 3 3		
輪島市	1 5 0	5 0	3	2 1 3	3 0 3	6 6 9	2 2 8 6	3 8 7 3	4 2 3 6			1 0 3 9 5	調査中	1 1 2 7 9
珠洲市	1 2 6	2 9		4 7	2 0 2	3 7 5	1 7 3 8	2 0 4 9	1 7 5 0			5 5 3 7	調査中	5 9 6 3
加賀市							1 4	5 0	2 5 7 5			2 6 3 9		
羽咋市	1				7	8	6 5	5 2 4	3 1 4 6			3 7 3 5	6 1	4 4 0
かほく市							9	2 4 5	2 8 2 8			3 0 8 2		2 3 0
白山市	1	1			2	3			7 8 3			7 8 3		
能美市				1		1	1	1 2	1 7 8 6			1 7 9 9	9	
野々市市					1	1			2 6 3			2 6 3		
川北町									4 9			4 9		
津幡町				2		2	9	8 1	2 8 6 7			2 9 5 7		3 4
内灘町	1	1		6		7	1 2 3	5 5 6	1 7 0 1			2 3 8 0	2 9	6 0 9
志賀町	1 2	1 0		7	9 7	1 1 6	5 5 7	2 4 2 2	4 4 2 9	6	5	7 4 1 9	6	3 9 8 2
宝達志水町							1 2	7 7	1 6 3 7			1 7 2 6		1 3 2
中能登町	1	1		1	1	3	5 4	8 9 3	3 1 8 5			4 1 3 2	1	1 3 8 1
穴水町	2 6	6		3 2	2 2 5	2 8 3	3 9 5	1 2 9 1	1 6 8 5			3 3 7 1	調査中	3 3 6 5
能登町	2 5	2 3		2 7	2 5	7 7	2 4 3	9 2 4	4 5 2 0			5 6 8 7	2 5	3 5 9 8
計	3 5 8	1 3 1	3	3 3 6	8 7 6	1 5 7 3	6 0 4 3	1 7 9 7 3	6 0 8 0 3	6	5	8 4 8 3 0	1 3 1	3 3 9 7 5

※ 災害関連死：当該災害による負傷の悪化又は避難生活等における身体的負担による疾病により死亡し、災害弔慰金の支給等に関する法律（昭和48年法律第82号）に基づき災害が原因で死亡したものと認められたもの

※ 非住家被害については半壊以上のみ記載

出典）石川県 資料

2. 復旧・復興状況 インフラの復旧状況

- 1/2から幹線道路の緊急復旧に着手。24時間体制を構築し、地元を中心とした各建設業協会や(一社)日本建設業連合会の応援を受け、緊急復旧作業を順次実施。
- 沿岸部では被災箇所が多数確認されているため、自衛隊と連携し、内陸側・海側の両方からくしの歯状の緊急復旧も進めており、13方向で通路を確保。
- 孤立集落は1/19に実質的に解消。引き続き、水道・電力などの要望、自治体の要請を踏まえ、緊急復旧を実施。



2. 復旧・復興状況 インフラの復旧状況

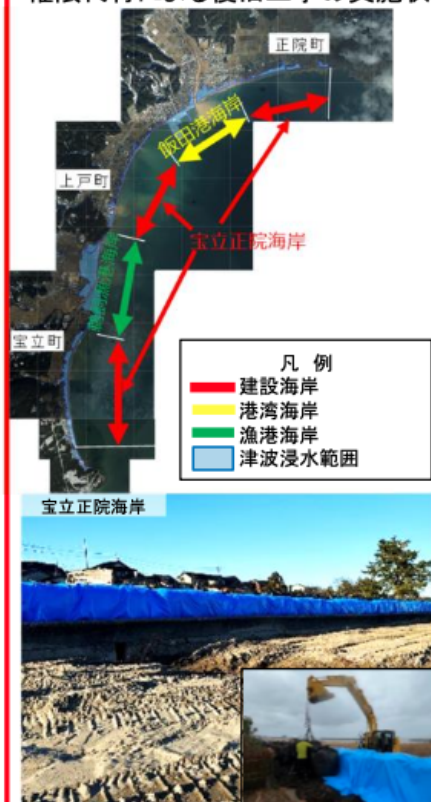
- 令和6年能登半島地震後に発生した津波により、珠洲市、能登町を始め、甚大な浸水被害が発生。また、宝立正院海岸等の**12海岸（石川県管理）において、堤防護岸の損壊等を確認。**
- 背後に珠洲市の中心部をかかえ、甚大な被害があった**宝立町～正院町の海岸では、復旧工事を権限代行により国が実施中。**R6.4までに大型土のう等による応急対策を実施済。
ほうりゅうまち しょういんまち
- 津波のリスク情報を提供するなど、**珠洲市の復興まちづくり計画を支援**し、この計画と整合を図りつつ、**海岸堤防の本復旧**を行う。
- 他の海岸は必要な応急対策・立入禁止措置は実施済みであり、海岸堤防の本復旧を実施予定。

今回の浸水範囲と津波浸水想定と比較
(抜粋)



珠洲市 三崎町～宝立町
浸水面積 約106ha

権限代行による復旧工事の実施状況



復興まちづくりの検討スケジュール(珠洲市のケース)

市が行う復興計画策定

海岸堤防の復旧・復興

R6年
4月
～
6月

復旧・復興本部の
設置

基本方針

復興計画骨子

7月
～
9月

復興計画(案)

10月
～

復興計画策定

※住民説明会や市民ア
ンケートを随時実施

権限代行による応急復旧
宝立正院海岸:応急完了
(R6.4)

・津波のリスク
情報の提供
・海沿いのまち
づくり・住まい
方を踏まえた
復旧復興方針
の検討

設計

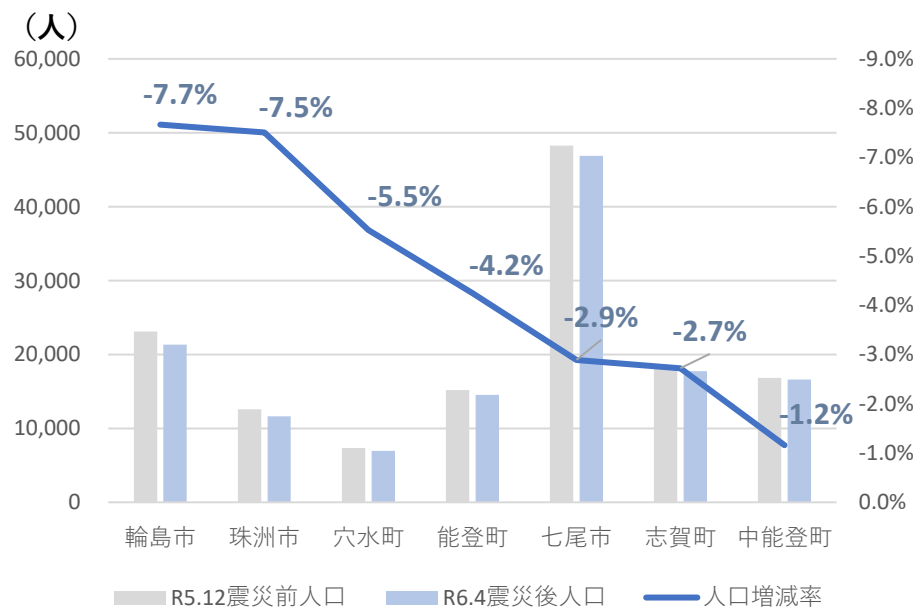
本復旧
に着手

2. 復旧・復興状況 被災後8ヶ月の人口変化と仮設住宅の状況

8月末時点

7市町、地震後8か月で
人口約4% (5,854人) 減

各市町の人口推移（震災前後）

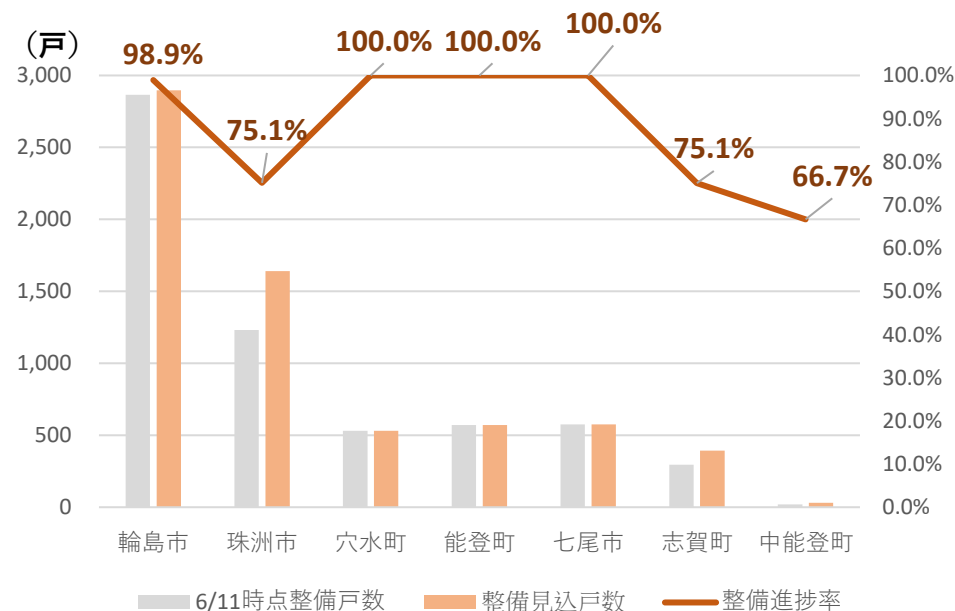


出所) 県住民基本台帳人口データより作成

9月2日時点

7市町、仮設住宅
91.8% (6,091戸) 完成

仮設住宅の整備進捗状況



出所) 県公表資料より作成

3. 復興に向けた取り組み

石川県 創造的復興プラン（仮称）の概要

<プランの構成>

- 序 章・・・「能登らしさ」
- 第1章・・・「被災状況」
地震の概要、県内における被害の状況
- 第2章・・・「創造的復興に向けて」
創造的復興の必要性、スローガン、創造的復興に向けた基本姿勢
- 第3章・・・「プランの位置づけ、対象期間、対象地域」
プランの位置づけ、期間、対象地域、創造的復興に向けたさまざまな声
- 第4章・・・「創造的復興に向けた取り組み」
施策体系、創造的復興リーディングプロジェクト、具体的取組、タイムライン
- 第5章・・・「推進体制と進捗管理」
多様な主体との連携・協力、復興財源の確保、進捗管理、検証と後世への伝承

-1-

<プランの位置づけ>

「創造的復興の実現に向けた羅針盤」

県成長戦略に基づく施策の推進を県政運営の基本としつつ、地震からの復興に関する事項は、本プランに基づき推進。

<対象期間>

県成長戦略の目標年次である令和14年度末までの9年間

「短期」（2年後の令和7年度末）

「中期」（5年後の令和10年度末）

「長期」（9年後の令和14年度末）

<創造的復興に向けて>

- ・「地域が考える地域の未来を尊重する」
- ・「あらゆる主体が連携して復興に取り組む」
- ・「若者や現役世代の声を十分に反映する」

など12の基本姿勢に基づき、創造的復興リーディングプロジェクトをはじめとする取り組みを通じて、創造的復興を成し遂げる。

創造的復興のスローガン

能登が示す、ふるさとの未来
Noto, the future of country

能登は、人々にとっての特別な地です。私たちが当たり前のものと思ってきた能登の美しい自然、そして歴史が培った文化は、世界にも誇れる未来に継承すべき唯一無二の財産です。また能登は、多くの課題を抱える日本にとっての様々な課題の先進地でもあります。

そんな能登に、年の始まるその日に発生した大震災。この痛みと悲しみを乗り越え、これを未来へと続く新たな始まりとしたい。能登が創造的復興を成し遂げ、自然と文化が真に共生する持続的な地域の姿を示すことは、大切な能登を未来に紡ぐだけでなく、日本、そして世界中のあらゆるふるさとの希望の光となります。

能登が持つ自然や文化の普遍的な価値に新たな価値を融合し、全国そして世界から再び注目を集め、理想とされる能登の未来を創り上げることを目指す、という決意を表しています。

施策の4つの柱

1 教訓を踏まえた災害に強い地域づくり

インフラや施設の早期復旧と強靱化、災害廃棄物の処理促進、復旧事業者や支援者への支援、復旧・復興を通じた関係人口の拡大 など

2 能登の特色ある生業（なりわい）の再建

被災した事業者の早期再建に向けた支援、農林水産業の再建、伝統工芸産業や商店街の再建、観光産業の再建、新たなビジネスの創出 など

3 暮らしとコミュニティの再建

暮らしと住まいの再建、祭りや文化財の再建、文化・スポーツの力の活用、地域公共交通の再建、デジタル活用などスマートな生活の実現 など

4 誰もが安全・安心に暮らし、学ぶことができる環境・地域づくり

医療・福祉・子育て支援体制の充実強化、学びの環境の再建、豊かな自然環境を活かした能登の魅力の向上、被災者・被災地支援の充実、危機管理対応の充実と震災の検証 など

このうち、創造的復興の象徴的プロジェクトを「創造的復興リーディングプロジェクト」と位置づけ

3. 復興に向けた取り組み

石川県 創造的復興プラン

リーディングプロジェクト

取組 1

復興プロセスを活かした関係人口の拡大

取組 3

能登に誇りと愛着が持てるような「学び」の場づくり

取組 5

自立・分散型エネルギーの活用などグリーンイノベーションの推進

取組 7

利用者目線に立った持続可能な地域公共交通

取組 9

能登の「祭り」の再興

取組11

能登半島国定公園のリ・デザイン

取組13

産官学が連携した復興に向けた取り組みの推進

取組 2

能登サテライトキャンパス構想の推進

取組 4

新たな視点に立ったインフラの強靱化

取組 6

のと里山空港の拠点機能の強化

取組 8

奥能登版デジタルライフラインの構築

取組10

震災遺構の地域資源化に向けた取り組み

取組12

トキが舞う能登の実現

3. 復興に向けた取り組み

各市町の役割

- ・住民への意向把握、意見交換会等の実施
- ・復興に向けた方針・計画の策定

国直轄の役割（都市局・住宅局 等）

- ・被災状況の調査、把握・・・（１）調査
- ・復興まちづくりの検討・・・（２）調査

■珠洲市

- ・復興計画を策定中（年内）
- ・策定委員会（第１回：5/18、第２回：7/27）
- ・地区意見交換や意識調査、地区協議会を実施中

■輪島市

- ・復興まちづくり計画を策定中
- ・検討委員会（第１回：5/9、第２回：7/12、第３回：8/8）

■能登町

- ・復興計画を策定中
- ・推進委員会（第１回：5/16、第２回：5/28第３回：8/29）

■穴水町

- ・復興計画を策定中
- ・策定委員会（第１回：5/24、第２回：6/25、第３回：7/26、第４回：8/22）

■七尾市

- ・戦略的復興ビジョン案を策定中（年内）
- ・市民公開ミーティング（6/23～8/3）

■中能登町

- ・復興計画を策定中
- ・委員会の設立準備中

■志賀町

- ・志賀町令和６年能登半島地震復興計画を策定（令和６年７月）

3. 復興に向けた取り組み

和倉温泉創造的復興ビジョン（県内第一号のエリアビジョン）の取り組み



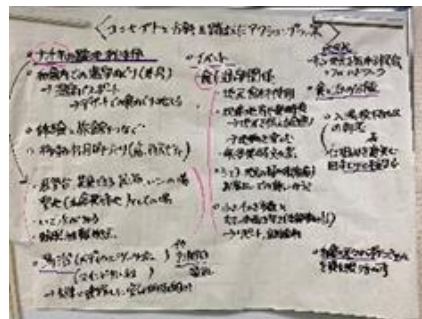
22の旅館
(全客室数約1300部屋、収容人数約6600名)

被害総額 1000億円以上



3. 復興に向けた取り組み

ビジョンの策定プロセス



会議名	開催日	内容
ワーキング委員会事前会議	令和6年2月7日(水)	温泉復興に対する思いの共有
第1回 創造的復興ビジョン策定会議	令和6年2月8日(木)	策定会議の組織構成、スケジュール、温泉復興に対する思いの共有
第1回 ワーキング委員会	令和6年2月13日(火)	復興アイデアの整理、方向性共有
第2回 ワーキング委員会	令和6年2月13日(火)	『長門湯本温泉観光まちづくり』
先進事例 Web 勉強会①	令和6年2月21日(水)	まちづくりコンセプト、基本方針
第3回 ワーキング委員会	令和6年2月22日(木)	『鳥羽温泉観光と漁業先進事例』
先進事例 Web 勉強会②	令和6年2月23日(金)	人吉市豪雨被害における『なりわい再建支援補助金活用』
先進事例 Web 勉強会③	令和6年2月26日(月)	『下呂温泉の観光 DX 先進事例』
第4回 ワーキング委員会	令和6年2月28日(水)	ビジョン(案)についての協議
第2回 創造的復興ビジョン策定会議	令和6年2月29日(木)	ビジョン(案)報告

3. 復興に向けた取り組み

ビジョンのコンセプト・基本方針

能登の里山里海 を“めぐるちから”に。和倉温泉

いのちがめぐり、人がめぐる能登の里山里海。自然の循環がもたらす恩恵と、人が集い行き交うことで生まれるちからと、和倉温泉の生業を共鳴させ、能登に暮らす人、働く人、訪れる人全てが幸せになれる和倉温泉を再生します。

課題	基本方針	事業アイデア(例)	課題	基本方針	事業アイデア(例)
景観 ▶	歩きたくなる動線や空間をつくる。 穏やかな七尾湾の風景、情緒ある温泉街、食などの観光資源をつなぎ、まちの回遊性を高めます。	・海沿い・街なか歩行動線 ・夜間景観、湯けむり情緒 ・建物まちづくり景観ルール ・周遊サイクリングロード ・拠点・ゾーン整備 ・飲食店・土産物店 等	連携 ▶	能登の里山里海の交流拠点となる。 ヒト・モノ・コトを通じて能登の里山里海を価値化し、新たなビジネスや交流のハブとなります。	・能登のコンシェルジュ機能 ・観光コンテンツ連携 ・スポーツ拠点 ・じわものブランド化 ・奥能登への二次交通 ・里山里海保全活動 等
生業 ▶	多様で洗練された湯治を提案する。 和倉の湯、食、おもてなし力を活かし、心とからだの両方をリフレッシュできる場所になります。	・宿泊の多様性、長期滞在 ・泊食分離、旅館規模適正化 ・温泉湯の利活用 ・美食とウェルネス ・スポーツ合宿との連携 ・マリンスポーツとの連携 等	生活 ▶	温泉文化を未来につなぐ。 住む人、働く人、子どもたちが温泉地で暮らし、働き、学ぶことを誇りに思い、幸せを感じるまちをつくります。	・シビックプライド ・暮らしやすさ ・子どもの温泉文化教育 ・まち全体のおもてなし ・ワークライフバランス ・ウェルビーイング 等
共有 ▶	循環経済の温泉地モデルを実現する。 最新技術も活用した資源循環システムを確立し、持続可能な温泉地モデルとして新たな価値を生み出します。	・サーキュラーエコノミー ・地元調達率向上 ・観光DX・情報共有 ・共同送迎EVバス ・再生可能エネルギー ・ゼロ・ウェイスト 等	安全 ▶	安全安心の防災を強化する。 令和6年能登半島地震の経験から学び、安全かつ強靱な対策を施し、すべての人々に安心を広げます。	・高台避難場所 ・スポーツ施設活用 ・自己水確保 ・旅館の避難所・備蓄所 ・街ごとBCP ・ユニバーサルデザイン 等

4. 今後の課題 能登の里山里海 世界農業遺産（GIAHS）の側面から

世界農業遺産（GIAHS）で評価された価値

人の手が入った里山里海の共生循環のシステム

- （１）生物多様性が守られた伝統的な農林漁法と土地利用
- （２）優れた里山景観
- （３）里山里海に育まれた多様な生物資源
- （４）長い歴史の中で育まれた農耕にまつわる文化・祭礼
- （５）伝えていくべき伝統的な技術
- （６）里山里海の利用保全活動



七尾市、輪島市、珠洲市、羽咋市、志賀町、宝達志水町、中能登町、穴水町、能登町





4. 今後の課題 能登の里山里海 世界農業遺産（GIAHS）の側面から

- ・ 9/21-22の豪雨で、ふりだしに戻る可能性あり

- ・ GIAHSを支える集落の存亡 珠洲市160集落 輪島市180集落

高齢化と人口減少で、集落を維持できない

農林業に人の手が入らず維持ができない

こうした土地利用が変化することで、生物多様性へも影響

公費解体がすすみ能登らしい建築や景観が失われる

→ 個々の住宅相談・アドバイスを急ぐ まず価値を認識し保全、改修へ

→ 生業を変化させつつ持続可能なかたちへ（滞在型観光と食など）

→ 新たな担い手の確保 関係人口づくりとコモンズ

→ オフグリッドやサーキュラーエコノミー